

令和6年4月
第4号

高島市議会 真志会 広報



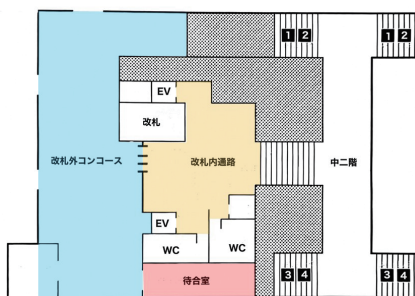
澤本 長俊

磯部 亜希

R6年度当初予算ピックアップ

近江今津駅リニューアル事業 7,230万円

- コンコースのリニューアル
- 待合室のコワーキングスペース化
- デジタルサイネージ
(電子掲示板)の設置



イメージ図

新ごみ処理施設建設関連事業

- 新ごみ処理施設建設予定地用地取得費
1億2,800万円
- 高島市ごみ処理施設整備運営
事業者選定委員会設置
- 債務負担行為(あらかじめ後年度の債務を約束すること)
3億9,200万円 (R7~R25年)
泰山寺区および周辺地域(7区・自治会)への配慮として、
生活環境の保全、増進や懸案事項等の解決を図るための
地域振興交付金

子育てするなら高島市!

妊婦健診費用 全額助成



産後ケア事業 宿泊サービス

4月開始予定
産科医療機関での
宿泊助成

乳児おむつ 支給事業

10月開始予定
満1歳まで
自己申請制



病児保育

市民病院内
生後6カ月~
小学校3年生まで

在宅育児 支援事業

在宅育児されている
1・2歳児
1人あたり月3万円

保育料 完全無償



こども若者 応援ベース施設 管理事業

子育て家庭の相談支援
を包括的に行う

給食費無償



医療費無償

高校卒業まで



育英資金貸付制度 (奨学金)の 返還免除制度の創設

6月募集・審査開始予定
卒業後5年以上継続して
市内に居住・勤務で
1/2返済免除

その他さまざまな子育て支援制度等に
対するご相談は、

高島市子ども未来部子育て政策課

☎ 0740-25-8136

もしくは、私たちへご連絡ください。

私たち真志会は、
子育てするなら高島市!の実現のために
今後も全力で取り組んでまいります。

R6年3月

代表質問 澤本 長俊

詳細は
こちらから

議会中継の様子
(動画)



人口動態から見える今後の高島市

国立社会保障人口問題研究所(社人研)は公表した地域別推計人口で、2050年時点での生産年齢人口(15歳～64歳)が2020年に比べ、高島市で51%減少するとのこと。



このことは、介護現場だけではなく、産業経済、子育て教育、福祉等々、全ての分野に大きな影響を及ぼす最重要課題であると考えます。
対策の一つとして、外国人労働者は必要不可欠となると考えています。

市の最上位計画であります第2次高島市総合計画について次回の見直しでは、避けることのできない人口減少を前提として、行政機能を維持しつつ、市民生活の豊かさを実現していく方向性を示す必要があると考えています。

外国人労働者については、長期就労を前提として、高島市が外国人の方と共生できるまちづくりへの取り組みを展開する必要があると考えています。

市長

他の質問

市民生活の安心安全のため安定した財政運営を

湖西線の利便性向上について

風で止まる鉄道という高島市にとっては極めて残念なフレーズが拡がり、市民生活に大きな影響を及ぼすこととなっている。このことは、市の重要政策である若者定住、人口減少問題にも大きく影響を及ぼしている。



代替輸送等の対策は考えられないのかと考える。

JR西日本としては、何とか代替輸送が出来ないか検討されているようですが、実際問題としてバス運送企業が予備のバスの保有がほとんどない状況であるので、非常に厳しい状況であります。
防災無線等での市民の皆様へのお知らせについて、30～40分程度の時間のロスがあるので、そこをリアルタイムでお知らせできるよう、工夫します。

市長

今後の展開

近江舞子までは運行されることが多いので、近江舞子駅を起点として、少しでも利便性向上につながるような対策も考えていく必要性を感じています。

引き続き、市長はじめ担当部局と議論を重ねてまいります。

R6年3月

一般質問 磯部 亜希

詳細は
こちらから

議会中継の様子
(動画)



高島市の防災・減災についての提案

今回の一般質問では、子どもの権利を守るために、1月に開設されたこども若者応援ベース「みらくる」や、子どもの権利に関わる条例や第三者機関の設置について(議会だより掲載)と、防災・減災について取り上げました。

災害時の避難所運営において、女性の視点を活かしてほしいと考えています。女性専用スペースや女性トイレの配置、物資の分配等の配慮につながるように、運営に関わるリーダーとして女性を2人以上含めておくことを、市民の方へさらに周知していただく点や、広域避難所のレイアウトについて、平時から近隣住民の方にしっかりと把握してもらっておく点をうたえました。

また、液体ミルク等、備蓄品の詳細がわからないため、市の公式LINEで見られるように提案しました。さらに能登半島地震で見られたように、被害の心配がある水道設備の耐震化についても質問し、広域避難所や医療機関を優先的に効果的な耐震化を進めていくとの答弁をいただきました。備えに終わりはありませんが、引き続き防災・減災について考えていきます。

